第２０３号　理研会報　平成２年１０月３０日

理研会報

発行
印教研理科研究部
事務局
成田市立成田小学校
成田市幸町948－1

平成二年度　理科作品展終わる！

九月二十五日～二十七日まで、成田小学校を会場として郡の理科作品展が開催されました。作品展も三十八回となり、力作が目につきました。

作品講評

◎科学工夫の部　四街道小学校　高橋　正昭

今年度の出品点数は九十一点（小七十三点、中十八点）ありました。中学校がやや少なかったですが、予定された数に近いまずまずの出品数でした。

今回の審査は次の四つの観点で審査しました。

①新しい着想と、創意工夫
②学年、年齢にふさわしく、研究努力のつまれたもの
③夢でなく現実性のあるもの
④破損しなく、安全性が高いもの取り扱いが困難でないもの

以上で審査した結果は、次のとおりです。

①小学校低学年、中学年は、ゴム、風、バネ、モーター等で動く工夫が多かった。どの工夫も色彩豊かで、低・中学年らしい夢のある作品が多かった。高学年では、モーター、電気等を使った工夫が数多くあった。どの作品もつくりがしっかりしていた。

②中学校では、実験器具を工夫したものや、日常生活の中から創意工夫された作品が多かった。どの作品も、工夫の意図がしっかりしていた。

どの部会も熱心な取りくみごくろうさまでした。今後の課題として、次の点に留意して、よりよい工夫工作づくりに努力して下さい。

"毎年同じような作品が数多くだされます。着想を新しくすることはもちろんですが、同じ傾向のものをつくるにしても、何を自分は工夫したのか明確にすること。すなわち、工夫された箇所がはっきりとわかる工夫をつくること、またそれがしっかりと機能すること"

◎科学論文の部　佐倉小学校　石田　政光

百四十点の出品された論文はいずれも力作揃いである。審査を通して感じたことを以下に記す。

【小学校の部】論文の素材として日頃学校で学習していることを採りあげているものが多く、教室での学習を更に発展させ、観察・検証を中心にまとめあげている。その観察・検証する観点、視点も比較的しっかりしており、新しい視点をもってなされているものも見られた。長期間に渡る継続観察の中から、データをしっかりと収集している作品ほどしっかりしたものになつており、読むものを説得する力をもっている。

身近な素材を継続的に研究していくことは論文の内容を広げ、更に深めていくうえで必要なことであり、その過程で常に子どもらしい疑問、アイデアを大切にしたいものである。

【中学校部門】大気汚染、酸性雨、水質汚染等公害・環境等の今日的な問題を採りあげ追及した作品が比較的目立った。扱うテーマがテーマだけに、表面的なことに流されることなく、豊富なデータに裏付けされた考察としっかりとした測定法が大切になってくるが、今回の入選作品にはそういう観点からも説得力のあるものが多かった。一方日常の身近な生活の中に、あるいは学校での学習の中にきっかけや課題を見いだすことも必要である。今日的な問題のみならず学習した内容に素材を求めていかせる指導が指導者側に要求されるところでもある。事前の指導の大切さを改めて訴えたい。

◎標本の部　栄中学校　寺内　義雄

小学校は力作が多く見られた。子どものだけの作品でないにしても、子どもの発想を大切にし家族の指導のもとで、自然をよく見てサンプルを集める。集める中で関心が高まり、ますます自然に興味を持ち、知的好奇心が喚起される。

長い夏休みに家族とともに、このような時間をもてた家族はかごやかで幸せだったことでしょう。

中学校はていねいに自分の手で仕上げた作品が目だった。

植物標本は写真付きが三点あった。生態図鑑のサンプル付きである。一番良いものを金賞にした。

雑草三百という。漫然と集めたのではきりがない。目的を持ち、範囲を限定した作品（シダ・薬草・水田の草等）がよくまとまっていた。

植物の分類に正面から取り組み双子葉、合弁花、単子葉、離弁花、胞子植物としっかりと配列したものも立派な作品でした。

最近の標本は採集の意図がしっかりした研究論文に近い解説が付いたものが多くなった。

審査に当たって、標本の部とは何か、単なる良いサンプルが価値があるのか、意図や考察はどの程度の加重で評価するかが話し合われた。結局、標本の質・標本作製の技術・標本の数・採集の意図・アイデア・結果としての説得力等を総合して評価した。

標本作りの基本は大人が教えてあげないと「労多くして効なし」に終わる。今後もご指導を。

多くの作品が集まり、印旛郡市の取り組みの様子を肌で感じることができた。教師の指導の必要な作品、親の力がある面で必要な作品もある。

必要なことは、子どもの発想を教師・親が生かす方向でアドバイスをしてあげることのように思う。（審査担当）

1・出品点数　304点（他に教職員自作教具　1点）
2・入賞者及び作品名　54点
3・入賞者名及び作品名

学年	《工夫工作の部》氏名	作品名	学校名	備考
小1	渡田　直希	ロケットはっしゃだい	みそら小	
1	高橋　春香	空気をつかった人形劇	西志津小	
1	武部　千尋子	ごむでうごくくま	小林小	
2	田原　優子	ピカピカとうだい	中台小	
2	笛木　貴史	きょうりゅうの国	栗山小	
2	高津　正裕	うちゅうステーション	青葉小	
2	湯浅　陽介	ケイクリングリンリン	八生小	
2	野口　貴弘	虫の国	栗山小	
2	大阪　真雄	かけ算九九組合マシーン	寺崎小部	
3	池田　直樹	うちゅうから来たネコたち	寺崎小	
3	若木　春水	大きさ選別き	青葉小部	
4	椎野　千春	醤油なかめ	玉造小	
4	若木　美水	重さ選別機	青葉小	
4	蓮見　高円	ブルブルレース場	実住小	
5	毛利　千紘	星座観測器	清水口小	
5	中路　典男	回るてんとう虫	成田小	
6	佐藤　健太郎	鶴の恩返し	四街道小	
6	藤巻　洋亮	しゃくとり虫	佐倉東小	
6	久保田　隆	水力発電機	大山口小部	
中1	市川　真樹	かんのふた	富里中	
1	岡本　樹広	加熱防止装置付ハンダゴテ台	臼井中都	
1	石井　克典	スロットマシーン	七次台中都	
2	野田　やすよ	花びんの水換えラクラク	旭中	
2	大熊　健太郎	風向計	臼井西中部	
3	竹之内　千夏	伸ばしても大丈夫	旭中	
小1	滝口　森郎	あさがおのかんさつ	寺崎小	
2	谷津　文香	ひまわりの観察記録	中台小	
2	熱田　大輔	ひまわりの観察	実住小	
2	小久保　早織	アサガオの観察	成田小部	
3	大木　真由美	ひまわりのかんさつ 2	明隣小	
3	松田一樹　三吉明希人　竹内秀行	だんご虫のけんきゅう	寺崎小	
4	藤田　順子	だいこんのひみつみつけた	豊住小部	
5	小川　陽子	清水の研究	公津小	
5	小笠原　光洋	たまごからヒヨコへ	日吉台小部	
6	井上　祐介	タンポポの研究(3)	成田小	
6	川口　博司	カボチャの巻きひげの研究	西志津小	
中1	岡田　和美	コイルの巻き数にご磁力の変化	栄中	
1	浅井　理人	木刈造成地の植物と印西町旭元の植物の比較	木刈中部	
2	佐藤　淳子	〈水中から〉とび出すボールの研究	井野中	
3	古林　眞哉	植物による粉塵汚染調査	千代田中	
3	市角勇人・庄田哲夫	土壌動物に与える酸性雨の影響	七次台中	
小1	《標本の部》中西　優香	しだしょくぶつ	鎌賀台小	
2	留川　卓也	昆虫標本	栗山小	
3	河合　みづき	カニの標本	八街東小	
3	小林　里奈	貝の標本	新山小	
4	足立　彩子	夏の野の花調べ	小竹小	
4	森澄　全亮	貝の標本	八街東小	
5	中川　朋美	庭や畑の雑草	吾妻小	
6	山田　哲也	蜂の巣と蜂の標本	榎本名小	
6	河合　まどか	海藻のおし花標本	八街東小	
中1	中村　泰宏	植物標本	佐倉中	
1	伊藤　聡美	水田の雑草	栄中	
1	佐藤　玲奈	植物標本	旭中	
1	鈴木　真理子	シダの分類	千代田中	